☆世界同時革命・世界革命戦 プロレタリア独裁

> 産主義勝利! 共産主義者同盟





蜂 起 社

発行所 蜂 超 社 渋谷区広尾5の16の1 北村第一ピル内 TEL(03(446)0832 (板替)東京 1 5 1 2

であった。また緒党派が平和共存一選求して自由を迫り、再逮捕、再略的核心を指し示す武安闘争の皇一精神的肉体的苦痛の権限を巧妙に

取調べ時のリンテは常態化し、

聖者を摘発し人民の名におい

4.28 破防法裁判 (地野7.9.2号法廷) アヤメ病院糾弾集会 (城北福祉・岡平仁 .26

2.12 2.11 アヤメ所統糾弾集会(発送歌: 神水・(市を) 東京叛軍討論集会(<sup>国無駅下版・</sup>(市な区金館) -22 アヤメ連続闘争(<sup>阿販テモ</sup>・第刊 - 70 (国会略) 

2.21 2.24 「刑法改正―保安処分新設」 (保全共呼びか) 粉砕中央決起集会・代表者会議(げ、場所未定) 3月

二度目の正月を、運動機一自らのものとし、その苦悩と、強

いることは労働するで、現代、職人が必ずている選挙を、数者としく、権利を受許大義に、活動的、権权の名の課と、定数の人の人の人には労働するで、第2代、年代、規制的に、第3名で、民國等が活動しておしての人の課とていたなく、中、東京の祭に出て護済されたが、いる代表を、一

かわれわれの思想性は、ベトナム いる人民解放の闘いと共有してい

たとえ他の同志が解体しても

手段である。権力は密室の中であ

これらは全て黙秘をとくための 意識的な壁、偽証をフルに利

▲自衛隊直接攻梁マム車需産業解 の矮少な反暴力革命路線に狙い込かがげた。
★帝国主義軍 隊解体> 者人民は社会・共憲の人民敬頼状かかけた。
★帝国主義軍 隊解体> 者人民は社会・共憲の人民敬頼状からば、労働

싵

隊闘争で刻印 七三年闘争を

せよ 反自

ある。
を打ち立てることが出来な「化しようというのだろうか。

一般のであっている。

「他のでは、一般のでは、一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」」」

「一般のでは、」」」

「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」」」
「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」」」
「一般のでは、「一般のでは、」」」
「一般のでは、「一般のでは、」」」
「一般のでは、「一般のでは、」」」
「一般のでは、「一般のでは、」」」
「一般のでは、「一般のでは、」」」
「一般のでは、「一般のでは、」」」
「一般のでは、「一般のでは、」」
「一般のでは、「一般のでは、」」」
「一般のでは、「一般のでは、」」
「一般のでは、「一般のでは、」」
「一般のでは、「一般のでは、」」
「一般のでは、「一般のでは、」」
「一般のでは、「一般のでは、」」
「一般のでは、「一般のでは、」」
「一般のでは、「一般のでは、」」
「一般のでは、「一般のでは、」」
「一般のでは、「一般のでは、」」
「一般のでは、」」
「一般のでは、「一般のでは、」」
「一般のでは、」」
「一般のでは、「一般のでは、」」
「一般のでは、「一般のでは、」」
「一般のでは、」」
「一般のでは、「一般のでは、」」
「一般のでは、」」
「一般のでは、、」」
「一般のでは、」」
「一般のでは、」」
「一般のでは、」」
「一般のでは、、」
「一般のでは、、」」
「一般のでは、、」
「一般のでは、、」」
「一般のでは、、」
「一般のでは、、」
「一般のでは、、

事的に封じ込まれたからである。反革命武装勢力と政治警察に、軍

治警察亡の組織戦を長期に展開す

○革命武装勢力と政治警察に、軍 るのである。第二は血みどろな政 我々は、再び日帝先ファ権力の 的に暴気の再武装が要求されてい

軍建設の前進に対する敵権力の恐 総合党への飛躍、とりわけ、着実な をとした攻撃は、我同盟、強大な華 **岩寮省行威に対する寮田に獲ると「に燃え、組織に振りない愛情を注「売と共産主義政治の書間によっていま口の原教さ、陰澄さは、三一首都で革命を指導するという信念 同盟の党の革命は、思想の再武** 権力の卑劣な弾圧を憎み抜 

階級的報復を監訴える

高利を注意ららし、最体障害者、 一方ニクソンは、鉄道皮にも国内 ・ 一方ニクソンは、鉄道皮にも国内 ・ 一方ニクソンは、鉄道皮にも国内 ・ 一方二クソンは、鉄道皮にも国内 ・水俣、いたいいたい病を始め公 強いられているアラブ難氏をみよ ルに痛めつけられ、恋惨な生活を一る。自ら奴隷の親をはめられるよ

の現化で侵略・反革命をなざんと 数点を与え、自ら自粛隊の圧倒 アートの任務は、まざに複細圧氏 米東海地をおき、ペトナムへの油 ない。我々帝国王義国プロレタリ A-ナラ白国際行団主義勢力を料弾 を語ることはできない。六七年以外のは戦級をもって、米日を塞 は、プロレタリプ国際主義の内実 を語ることはできない。六七年以外の大学を開発した。 りは自らの解放を求めて死地にお

ある警視庁は何の途話もない しかし、このわれわれの瞬 見込み逮捕を開

上層部 別いを理解し全部に支持するま排を開 りえるものではい。 屋子、娘の やっている意味、権力の非違さ、 ったつもりでも伝れるのが 父母、愛は切る

) は、外部からの情報の遮断を

爆を含め米里が落した爆弾の潰はばる。第二次世界大戦において原

の大弾正は、すさきじく、予防反 ない他の未解決爆弾事件のこめげた。だがしかし、先ファ権力 く。取割べでは、逮捕事由と

一する。この権力の攻撃にわれ

権力は、凝集市に対して、転 向を選択するのみならず、人間 しる場合な手段を使って弾圧を 切るようつけ、遂に、積極的に死

連赤森兵士 一の死 を悼

連赤森氏士を始めとする連赤森氏士を始めとする連赤森氏士を始めとする連赤の 共士に対して止傷の基準も与え ることができない。

アヤメ三被告・獄中書簡集 殺られてたまるか!

蜂起社扱/アヤメ告闘会発行/200円

る。あのニクソンのハノイ・ハイ 帝国主義がもたら した惨禍な のる金世界人民にふりおろごれてい しみ抜いているのだ。これら全て

しみ抜いているのだ。これら全て が「軍事を組織するまさにその理プをみよ、伝染病と、飢えとで苦」略のより高度の深化を問うた。党 **如何なる権力の弾圧にも耐え抜く** え、共産主義を自らのものにし、

界共産主義党史観に導かれた革命 **論三原則を血とし肉とした兵士だ** わが蜂組派の戦士はまさにその 孤立している。常その弱な

個場、護美、墨子行使これは普遍 日十時間に亘る山麓や、あらゆる 化と先ファ権力の弾圧を把え返す するかわから い。たえず

労働者人民の生活を破壊し、その日帝が跨る経済攻撃力は、国内 大衆の自然発生性は、生活破壊に 連赤裁判(<sup>物数</sup>10.00) **1**.23

は包飾しないとか、何の関係もな 200の目的 せんを完けている。 暗影深節の ければならない。 敵は完整をとけ、化を要求されている。 暗影深節の はついた でんてきたおける

| 韓ばれて、広範な大衆を生活の中| た。

から反自衛隊・反揺地脳争へつつ

結ばれて、広範な大衆を生活の中

完黙は、敵に一切の情報を知ら | る。我々の闘いはこの攻撃の前に | 確信に消ちて闘いを顕常した。わ

略を統一する方針をもち、戦略的派の中で唯一、政治戦略と軍事権

生フロントが『社共に投票せよ』

反革命軍事勢力は、その時を先さ

い他の未解抉爆弾事件で起訴する

りでもって先ブァ権力と闘い抜く

広範に爆発する年となるだろうし民の怒りが反自衝隊反差短闘争へ 古体の生活破壊に対する労働者人 いる。 しつつある。七三年は帝国主義独 て延み込み、わが戦略の正しさを実征 アジ

またわれわれが組織をあげてそう

○ 合時は岸―佐藤を曾班に選び、米○ 快マクナマラ戦略が貢載されてい |利用することも朝飯前だ。米中対 | 圧を在

いる。社共人民戦線派や公明党を 現代過渡期世界の独占プルジョ

-は、国際国内情勢に順応し | 第

その政治警察があるので

自民絶対多敦勝婦

行性ファシズムの粗野な担い りした危機感から先行的に壊滅攻

中和解ー三角核均衡ー目中の時代 以下しか積極的支持をとり

の反日運動が韓国に放及して

ジ裁

ュ判

Ιス

とれない自民。総有権者の

69年11月闘争裁判(<sup>地黎M1.00</sup>) **3**1.29 東大安田決戦裁判(<sup>地数</sup>M10.00) ₩2.9 ■2.26

71年10.21棟馬自衛隊(地裁) 直撃斗争裁判(地裁)

れである。蜂起ー内嗽・世界革命 われわれは権力の壊滅の対象とな 戦争を目指す革命党派。プルジョ い込み、臨時革命政府を武装蜂心 政府や中遊政府を打倒する革命 しかもプルジョア独占体とその ) で北富士闘争も砂川闘争も、射離 った。だが三里家闘争を媒介とし 働きでもまき込んでいる。

からの組織指導で共産主義政治を

るように呼びかけます。 更なる先進国武装闘争と階級深速の綴り 関能力や重要技術の高度化が要請 全縁起の陳型に組織する共産主義政治を、 断固として複雑す

確になり、口先で武装をいう部分 いては、反動的敵対者が非常に明 しつつ、「武装をめぐる問題にお

のでは、大衆運動主義になるのは

- 1、実際に武装機争を考える部分 以上が未完修に、護党派は - 1の差差の部がは、ているし、押しなペエン来運動と回帰し、 近代後等の経営・理工・セン・皮脂・のが元気機体の団おれている原 か、どの程度のものかを知らせて、歴に応え例でいない。

披等は、われわれに対して、武一る、華共岡中核訳もその例外では

失兵…反革命政治警察との、血みどろの攻防の、現局面を則らかにする。

日帝先行性ファシズム権力の

商国

の問われている火急の任務を提起し、我同盟と共に、死力を尽し、

蜂起戦争派が直 た壁と我々の任務

面 L

反郷戦を組織した我々を、

が、組織的力量をつけ、階級攻防 組織体質と運動論において厳しく 三巴の内戦へ蜂起を組織してゆけ

の焦点を見失なった 諸党派は階級攻防 戦争派の前導にかかっているのである。

この「ハビレエ」の原理学校、こから第一、「原刊・こは何の上なり、「ハビレエ」の原理学校、こかの展生学校、「大学校園学の展生」の「小学校」の「大学校園学の展生の「大学校園学の高速の「大学校園学の高速の「大学校園学の「大学校園学の「大学校園学の「大学校園学の「大学校園学の「大学校園学の「大学校園学の「大学校園学の「大学校園学の「大学校園学校」であった。 位著聚との組織戦の専門家 とが出来すに、先祖帰りしたのが (イ) 党自身がレーニンの て来た、67年以降の地平を守るこ 人民戦線左派へと転落した第四イ 彼等は、新左翼総体の削われて ーと、再生プロントの踏石で 第二次プントが歩み終った癖であ 有していた時には、その後層につな政治的、イデオロギー的影響を

4の罐 一緒岩速が、中核派に対して連動を 大衆の軍事アレルギーがマンプレ続けて来た、三分解官役は、はいたが、連合赤重敗北以降一解以降、統一戦線について、常に

後は、保安処分戦級で、青との間 あるのは、終火派の諸君である。 彼等は、71年秋の関西家の三分 さて、薄くべき変身を巡げつつ

お レックスの裏返しでしかなく 中 放において、中核派に、一参選れ 変取った第二次プントの、コンプ と一級ではなく、かつての、第一クラーでの路線を放棄し、第一年一年、最終的に、超影単年結一年一名 意味からしても、そうなのであ

の非公然戦闘の一部が、敵権力を 問い返され、新左翼量大党派とし 判は正しく、正備を慰ているので、その地 一二次プンド解体における自分の重あった関語のある人物などに、第 といった時、その批 党組

が「かつで第二次プンドの議長で 前端新年号において、本多論文

た回郷隊が米軍ン川張地内に移駐 5切って、公然と治安目的を持っ 地元立川市民の八割の反対を押

制的生産関係に手をふれない人民定的になれば、私有財産制と資本 ポナパってゆく選具に社会民主党 ドイツでは独占プルジョアジーも った。日本独占体も自民退期が決 川落地への強行移駐となり、米軍 部の組入のしい単純な危機感は立下部の狙暴化となる。助権庁の幹

危機感は、

いる。地質の西騰、公害

から狂暴化し、更に無路を失っ

球建設/経起の原型を構築せよ/ すべての同志・語君/革命的編

を議会へ改良へ排外主義へとすい

安部隊の配置が強行されてい 民支配減微と自衛隊の

じめとし、自主外交を援い の「実力」を背景に日中

日帝は、経済的には米帝

**妈点を補完するものとして政治警** 

平人民の前に蜂起公然軍団の 東京坂軍の旗を高っ

外主義思想の米形成にある。この 景大の過点は、関路と軍を貸く株

々の登場に恐怕した先プァ権力は に武装されたわが公然軍団は敷を す政治管察―自衛隊治安部隊の帰派との結合を断ら切らんとますま 政治支配の危機脈から、プロレ してはっきりした。先ファ権力はる反目権隊の目然発生性の高揚と 化を計り、警察の住民支配の実体

は移駐を断固として阻止すべく、

而へと進撃を開始-ての人々は緊張する。

が、怒辱行号では、自らの文献解出したことは一度もないのである 終始し、主体的に再編の方向を提

派持編に於ても、評論家的立場に る。最小限期値を最大限期値へ、始的路線を持ち得ず、この間の党 …」という形で行なおうとしてい 脳瓣派は、従来から、一貫した

わは形式主義的弱点)の克服----□ (いわゆる最大限 - 最小限額 - 12・18路線の限界を明確にし ゆる最大限一般小限網領

回帰し間定したようである。

日米帝軍解体へ

我々は第二次プン トを抽象もしくは客観

前衛形成主義に対置して、

大衆運動をもっ いう、倒鉛した反スタ 彩画楽にと

プ ものが対外膨張を表求しはじめた 原本のが対外膨張を表求しはじめた 原本限済に到遠し、下部構造その 体質の の設備投資主導国内経済開発担復 経済 関連のご期論は、六四年、日帝 四タ

鍋を、主体的総括を通して行から第二次プント総体の内在

○で第二次アントは破産

大 社会主教権を延調に「反帝国主義 の を守る」提動構造に変わり、反帝 を 一右側化国止戦、労学提秀)に ※

既 競争戦の液化の向にふんずまり、 建法 歌となるため日帝は脳外進田(東 四

諸強の対立抗争は輸出ダンピング

は、この地によっては単いで、一般であった。 は、この地によっては単いで、一般であった。 を表している。 は、この地によっては単いで、一般であった。 は、このが、一般であった。 は

えて先進的大衆に軍事アレルギー敗北が革命運動に大きな損出を与

であった。七三年末は、革命的左

S番が六七年一○・八、 じた。又旧マル戦話の

力革命・プロレタリア独裁の、レ 的基準と、民族解放社会主義・暴

えた。また反帝全学連大会に向け戦略の主体的に組み込む問題に答

た学対高展論文の全く低次元の完

日米開戦 4、体制間収 不開収(帝国

命的敗北主義の心を心として党を攻防の弁証法一前経論路線は革

(先駆性論=一段階級略

大六年の、同型六回大会の成業、セイれた。 オス れた。 て逆手論を提起した。ドル体制の

性への拝覧が生

1 先行性ファシスエまれ たのでめっ

起

を

め

ざ

す

運 動

論と組

織

論

西

原

孝

動主義に傾斜し、自然発生性に解 及び自己と階級との関係の

大衆運

分には、安保決戦の敗北

生し、その突破体制構発に責任を感 一般のないでは、 のでは、 のでは、

開金」を設定

即ち東京社学回の先駆性論、関西

に言れないという、致命

数の ある。」というもので、まさど、 突れ送げて、そとから自然が正 が行れ イク値、に変ねっている。 をし、「大きなむりートの「不会には、アイギ」の意識となっらしい。 大く とし、「大きなむりートの「不会には、アイギ」の意識となっらしい。 大く とし、「大きなむりートの「不会には、アイギ」の意識となっらい。 大く とし、「大きなむりートの「不会には、アイギ」の意識となっらい。 大く とし、「大きなむりートの「不会には、アイギ」の意味というだけ、 は、不会に、「ない」という。 「は、一般では、「ない」という。 「は、一般では、「ない」という。 「は、一般では、「ない」という。 「ない」という。 「ない」といっ。 「ない。 「ない」という。 「ない」という。 「ない。 「ない。

差 て国家は中間政府を経過し、社民 会フ 治代表部の衰弱体制は明れ、従っ 略

争の学園・職場への持ち込みとし 「何なず」に依頼した、党派の収れた。その内実は、レーニンの

のである。一六八年の、、医際反戦集攻撃型階級闘争論が生み出される

て求め、そこから攻防の弁証法― 的・即時的あるいは益曲され、疎

するとともに国際一国内階級関係 なすことにより、教条主義を完験

の情報を採介環として自衛隊攻撃

又戦略党の展界を突

の厳略的確信へに関節を引きつけ の責任したで受けよめるべきである権力に対いのである。 しはって権力との次的の修案を検 しなって権力との次的の修案を検 しないとは、今回の経済を得 する論には異任をったよらなたいのである。

がいや

ったこと 覚である。

拠地とし にあて はめる塩児ー高原が 発生し、レーニン帝国主義を、機械的 よりも機体性を有していた。

激化しつつある。労働者国家辞を ってますます労働者階級の攻勢は

の限界性を突破す

媒介に各国労働者階級は自然発生

利の防衛は反帝闘争へ転化する。は関れ経済闘争は波化し生活と極

の政治処程論を総括

建軍路線をより解消にしていきた 第二次プントの主体的報話を解

る。日帝権力は侵略し反びの中に形骸化されていく

い 政治組織をつくる労研・社研館的 にあった。こつは、世界資本主義 が のど田辺だ様から機種本(自然) から得望し、機評の分と、機解の条領化の機関・大概等ののでは、大変等のでは、大変等のでは、大変等のでは、大変等のでは、大変等のでは、大変等のでは、大変等のでは、大変等のでは、大変がありません。

的思想の前芽をパリケード

世

界共産

Ŧ

義党史観

既獲得に

む

他したのである。 - 上

「反帝・労働者国家無条件難護」

プロレタリア国際主義と組

争)を紛砕するものであ

突撃党、軍へと変質してい

塩見の攻災型階級闘争論は「ロ

期世界の客観主義的把握は首

ジョン・大衆」という運動組織論 4
 建党建軍を闘いとり「党・フラクの い。権力・党・階級の基本視点で 0

という組織論に結実できる

を構築すべきである。諸階級の深

大衆運動の生々

的空間で 『中央権力闘争は、権力奪取

権力闘争を結合することを提起

2人闘争等、傾別資本に肉迫する

る破防法・労殴スト・

占の延命が国家機構の支え

安保プンドの運動論の軸は「ご

集約され攻北 を含ねい たのであ

安保心圧倒的なプロレタリア

## b

#### 台主義的団結)の限界は60年安保 左翼反対派運 反戦労働運動 動 か

9延長上にしか措定しえない点にいたにも拘らず、共に党を運動

大五年、日韓闘争を媒介に、総一

指向することなく、組合主義的指 を受保共闘(組合主義的統一版 た受保共闘(組合主義的統一版 ・ 親の中軸に、労働組合を拆盤とし | 長麻された。総評・地評を闘争組 | て労働省階級を組合の枠 一る資本の支配の貢献(右派労働組 では、安保プンド射域後の運動 (戦闘の資本へ の結成は した。 政治闘争の炎は、

一起してゆく。
一起してゆく。

枯の質が生産と流通の全社会秩序

ントは中央権力闘争マッセンスト

は ・ 一 戦線を呼び出し、 全 共闘の大衆 に し、 を 共闘の大衆 に し、 を 共闘の大衆

羽田闘争(10・8)へと爆発し、 青年委員会は、新左翼諸党派の労評・単座青年部から出発した反戦

三地関金の場合

#### ヴェ 権・マッ 運 セン 動 Ø 闘 総括 野争と

一次アント総体の到途内 (暴華上)八六)

一戦線の関連、マッセンストライ次に、階級的労働運動と反帝統 家に直接具体的にコンドュン的用しはあれ、闘争主体である先進的大 しょうとした。牛乳販売店や新聞

ヨ 指し、批判の自由(戦略論学)を制 館等、政府中枢攻撃)の一致を目 な 行動(首相官邸・防衛庁・米大使 め

ム連帯・沖縄闘争勝利)

一戦線の ではならない。 築

中電マッセンスト。 や反戦運動の抗礼を受けた労働者 学生運動を体験した労者 ヴェトを構築する」(前回)とい う問題意識は、労働運動の政治権 ソヴィエトの自然発生的劇

> ,る 労働 起の陣型を

運動

構

武器派级级

動家の意識に権力が

内容に、組合主義的団結にか

反戦ー金共闘の運動

関係の矛盾) を繋介にすることを ・差別・抑圧等 (生産力と生産) ・差別・抑圧等 (生産力と生産)

武装闘争の端緒的突出は、全共闘機された暴力の思想に武装された

**革命戦争に連挤した国際主義と組** 

へと決起

を蝶むが故に、労働組合におけ 原主義の内実を獲得できない して自己を階級へと組織し抜く共が、階級社会において止揚対象と

生的ソビエト創出と三〇年代ドン 運動論、あるいは運動組織論か )陣型に向けて階級的労働運動をこのような攻撃に対決し、蜂起

程を始ま

戦線秩序派とプロ独派

挫折に対してソヴェト造りを対置 するだけでは自的意識的ではない 下、更なる建党建軍の質徴と先を再編し、権力一党一階級の視座の

場し、運動から直接的に模立すべき パ 電景 では、 で、 の組織的には党の体系から労 唯 置 芝梅茶にむけた労働運動論の確立 切置 世界革命戦争を切り弱く蜂起の隊 は は常時優略反革命体制と対決して・我々は総括の活軸を①戦略的に

(宇野、黒鷺の折衷思想)

党の指定、軍を組織しうる過渡別

性と国際性を党の思想を立脚点と

型 りはしない。たからまず、党の事 1 生運動を労働運動に模すべりさせ は生運動を労働運動に模すべりさせ は

依拠階級の横スペ は、いうことは、党の組織体系の内部は、いうことは、党の組織体系の内部は、に、これの経暦層の関いを組み込むして主な、代記の記述として主要、武はこうして終起の理型に領職の対応といるし、またしなくてはならない。 にプロレタリアートの党が立

出された八渓統一戦線も、トロツ 能生をわれわれに与える上院・反戦のダイナミズムに呼び 遠だけが、PLO型統一に欠終していた。したがって、全 しつつ進む途だけが、こ を選求してもダメなのである。 繁煌の陣型の概念を目指す建党 かられたって「運動組織論」次 面にとの政治プロックでしかあり 心を忘れ去って「運動組織論」次 面にとの政治プロックでしかあり スターリンの社会ファシズム論 建軍闘争と共産主義収治を貫徹し われは、党の蜂起陣型と、 一戦線の可 党・階級という

組織するのである。階級に

党の体系から階級闘な 。階級闘争から生み出す 党へと自己純化した後に

V の窓りを扱みあげ、目的意識的に しても、自然発生性に接し、深部 ればならない。階級が大衆意識と

世界暴力革命論

# 義党史観の権力・党・階級の建党 革命論の三原則。の世界共産主

#### 共産 同理論機関誌

鉄の戦線

I 号·過渡期世界論/三百円 Ⅱ号•軍事戦略•綱領/宇野批判/四百円 ■号・黒田寛一批判/四百円

### 代 現在は、何間・面影響か生み 左 田)と氏語学の200条、東多識を 立 田)と氏語学の200条、東多識が の する際別川県の企画型として の する際別川県の企画型として の 対象際別になって東岸セカはなら に のる機能になって東岸セカはなら に ないるの名がは、我なは自己 の たいるの名がは、我なは自己 の に 近年来を上海して。たがらや党 世級の公園には、日本年年年日と、たがらや党 世級の公園には、日本年日と、たがらや党 煉獄の病棟

破壊に労働省市民大衆が反発し、プルジョアジーの職場支配と生活

させる時を迎えたのだ。 からの運動を上から党建設 からの運動を上から党建設

ĪΠ

アッピール 保全共・ ●精神科医全国共闘会議……字都宮泰英 ●烏山裁判斗争によせて……野村 満

共産主義政治の展開を実践したの 部の綴りを蜂起の陣型へ組織する

A 5 判 300円

●破防法弾圧と斗う会………内海 悟 ッセージ

V.保安処分の軌跡

アヤメ病院斗争の爆発に向けて…**三被告のアッピール** 10・21斗争で不当逮捕・起訴されたAさんの奪還をプシ共闘 Aさん救対委

保安処分粉砕斗争委員会

ら近 期待感がもです、投票所の の気分をはこんでいったのだ。 ことを報告する。

共和主義(共和主義と軍事) / ヶ権力の集中した網のような要

に敵対して来たが、反帝耿樑と医一公安警察の初慮作戦・テロリンチ力に組合するかたちで蜂越戦争派。向=共産主義的団結の闘いであり

よってもわれわれの臨いをおしつ へ おってもわれわれの臨いをおしつ へ 権力の集中した弾圧、攻撃も我同の権力の集中した弾圧、攻撃も我同の権力の集中した弾圧、攻撃も我同の いっそう大胆に世界革命戦争の結 いをかため、いっそうよく武装し、 しわれわれはいっそうよく武装し、 し 

の軍事反対派と反革命を生みだし と同時に第二次プントから多く 第選 共産主義の真紅の血に燃える兄

・ 争が真にプロレタリア独装を目指・ 地平こそは、まさしく日本階級

トナム人民との連帯という言葉だ 七〇年代階級闘争を六

原

報告します。同志請若と共に戦線若の前に保釈を勝ち取ったことを

てきた我プントは、自かと 史上始ての××戦闘として

の最底の延準

り 結の下、蜂起の摩型を組織し権力 切 争の更なる展開を、共産主義的団 宣言します。

宏

鉄の五大規律で完黙貫徹

10.21二兵士の復帰宣言

年代国民政策中・南田主義は、関東の開東さらにおいても、 が大田はは随様を、前間連、は 多くの素がなくさしまけった。 ・ 部がは、条質し、 開発をは 、人口の多くの無さした。ナー ・ 部が、日本のまた。 日本のまた。 日本のまた。 日本のまた。 日本のまた。 ・ 日本の主人は、日本のまた。 日本のまた。 日本のまた。 日本のまた。 ・ 日本の主人は、日本のなった。 日本のまた。 日本のまた。 日本のまた。 ・ 日本の主人は、日本のまた。 日本のまた。 日本のまた。 日本のまた。 ・ 日本のまた。 日本 だ語 リア独裁へ正しく組織されなけれた語 リア独裁へ正しく組織されなけれた。 ちれわれはこの中で こそ 先述的顕十としての義務を獲得す べ るであろう。

実をおおいかくしプロレタリア人

し回志諸君 先ファ程力 の断固た

はない。なぜなら切年代秘半の図いの中で、70年代初の中で、70年代初の同いの中で続きれた多くの人民の面と機動で流された多く人の、10年代初かりがおれれた全様大変減らその機能がわれれた全様大な任務へ一歩近づけたからであ 助 (ブル・イデオロギー)の ・ 闘争への志向を嘲笑し自己 獄中において先ファ権力は精神明されないのである。 的な攻撃をあり

しかし像大で高貴な仕病を放棄し ている。 歴史はまたその解答を全面的に 歴史はまたその解答を全面的に

亨 治

有

泉